

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2023年7月13日(13.07.2023)



(10) 国際公開番号

WO 2023/132154 A1

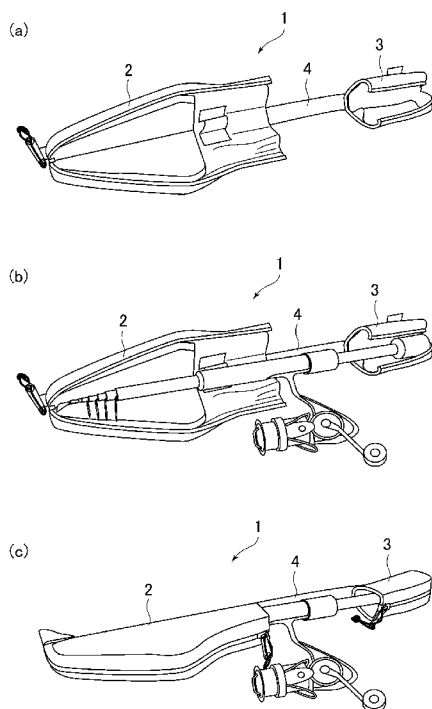
- (51) 国際特許分類:
A01K 97/08 (2006.01) A01K 87/00 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2022/043857
- (22) 国際出願日: 2022年11月29日(29.11.2022)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2022-001941 2022年1月7日(07.01.2022) JP
- (71) 出願人: グローブライド株式会社(GLOBERIDE, INC.) [JP/JP]; 〒2038511 東京都東久留米市前沢3丁目14番16号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 福田 和也 (FUKUDA Kazuya); 〒2038511 東京都東久留米市前沢3丁目14番16号 グローブライド株式会社内 Tokyo (JP).

- (74) 代理人: 今村 光広 (IMAMURA Mitsuhiro); 〒1056328 東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー28階 K & L G A T E S 外国法共同事業法律事務所 Tokyo (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CV, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IQ, IR, IS, IT, JM, JO, JP, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

(54) Title: FISHING ROD GUIDE COVER

(54) 発明の名称: 釣竿用ガイドカバー

[図1]



(57) Abstract: Provided is a fishing rod guide cover capable of not only protecting the tip and butt of a fishing rod regardless of whether a reel or the like is attached, but also of preventing the fishing rod from coming off a cover structure while making it easy and reliable to store and remove fishing rods of various types and sizes. A fishing rod guide cover according to one embodiment of the present invention comprises a first cover part in which the tip of a fishing rod can be stored and a second cover part in which the butt of the fishing rod can be stored, the fishing rod guide cover being configured such that the first cover part and the second cover part are connected via a connection part and the length of the connection part in the extension direction thereof is adjustable.

(57) 要約: 様々な種類や寸法の釣竿の収納や取り外しを簡易かつ確実なものとしつつ、リール等の装着の有無に関わらず釣竿の竿先部分及び竿尻部分を保護するだけでなく、釣竿がカバー構造から外れることを防止することが可能な釣竿用ガイドカバーを提供することにある。本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバーは、釣竿の竿先部分を収納可能な第1のカバー部と、該釣竿の竿尻部分を収納可能な第2のカバー部と、を備える釣竿用ガイドカバーであって、前記第1のカバー部と、前記第2のカバー部とは、接続部を介して連結され、該接続部はその延伸方向の長さが調節可能にされるように構成される。

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, CV, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, ME, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第21条(3))

明 細 書

発明の名称：釣竿用ガイドカバー

技術分野

[0001] 相互参照

本出願は、日本国特許出願 2022-001941（2022年1月7日出願）に基づく優先権を主張し、その内容は参照により全体として本明細書に組み込まれる。

本発明は、特に、振出竿を含む釣竿の竿先及び竿尻部分を収納可能な釣竿用ガイドカバーに関するものである。

背景技術

[0002] 従来より、釣竿を収納することが可能な種々のロッドケースが知られている。このようなロッドケースとして、例えば、ケース本体を備え、その内側に釣竿を収納し、内部での釣竿の移動を防止するため、釣竿を固定する紐を備えたものがある。

[0003] 竿部材の動きを拘束しかつ保護する手段として、特許文献1には、複数本の径の異なる竿部材を細径のものを内側にして伸縮自在に組み合せた釣りの振り出し竿を縮めたときに、前記複数本の竿部材それぞれの自由な伸長を拘束して該部材をその縮めた状態に保持することが可能な釣り竿保護具であって、保護具が、縮めた状態にある前記複数本の竿部材それぞれの上端部と該上端部から径方向に張り出した釣り糸ガイド用部材とを被覆可能なキャップ部と、該キャップ部の下端部で該キャップ部の周り方向に延びるベルト部とからなり、該ベルト部が前記下端部外面の所要部位に止着可能に形成される保護具が開示されている。

[0004] また、特許文献2には、基部に竿体取付具を有する釣竿のトップカバーにおいて、観音開きで展開状態となる一対のカバーハーフと、前記一対のカバーハーフの内側凹部にそれぞれ填装された変形可能なクッション片と、前記一対のカバーハーフの縁にそれぞれ設けられ、互いに閉じ合わされて前記内

側凹部を閉鎖するファスナーとを備え、前記カバーハーフを可撓性のある素材で形成した釣竿のトップカバーが開示されている。

先行技術文献

特許文献

[0005] 特許文献1：特開平 1 0－0 2 8 4 9 4 号公報

特許文献2：特開 2 0 1 2－2 4 4 9 5 8 号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0006] しかしながら、いずれの特許文献に開示の構造も、リール等を装着したままロッドの先端部分を収納することができるものの、ロッドの種類や寸法によってはロッドの先端部分がロッドの長手方向に移動してしまい、場合によってはカバー構造から完全に外れてしまうという問題があった。

[0007] 本発明の実施形態は、上記のような問題点に鑑み、様々な種類や寸法の釣竿の収納や取り外しを簡易かつ確実なものとしつつ、リール等の装着の有無に関わらず釣竿の竿先部分及び竿尻部分を保護するだけでなく、釣竿がカバー構造から外れることを防止することが可能な釣竿用ガイドカバーを提供することを目的とする。

[0008] 本発明の実施形態の他の目的は、本明細書全体を参照することにより明らかとなる。

課題を解決するための手段

[0009] 本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバーは、釣竿の竿先部分を収納可能な第 1 のカバー部と、該釣竿の竿尻部分を収納可能な第 2 のカバー部と、を備え、前記第 1 のカバー部と、前記第 2 のカバー部とは、接続部を介して連結され、該接続部はその延伸方向の長さが調節可能にされるように構成される。

[0010] 本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバーにおいて、前記接続部は、一方の端部が前記第 1 のカバー部に取付けられた第 1 の着脱部と、一方の端

部が前記第2のカバー部に取付けられた第2の着脱部と、を備え、該第1の着脱部と該第2の着脱部とは着脱可能に取着されるように構成される。

[0011] 本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバーにおいて、前記接続部は、一方の端部が前記第1のカバー部に着脱可能に取着され、他方の端部が前記第2のカバー部に着脱可能に取着される着脱部材であるように構成される。

[0012] 本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバーにおいて、前記第1の着脱部、前記第2の着脱部又は着脱部は、それぞれ面ファスナーにより着脱可能にされる。

[0013] 本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバーにおいて、前記第1の着脱部、前記第2の着脱部又は着脱部は、それぞれ線ファスナー、ベルト、ジッパー、ボタン、紐、バンド、ハンドルカバー、テープ又は磁石により着脱可能にされる。

[0014] 本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバーにおいて、前記接続部は、その延伸方向の長さが400mmから1000mmの範囲で調節可能にされる。

[0015] 本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバーにおいて、前記第1のカバー部又は前記第2のカバー部の少なくともいずれかは、前記接続部への延伸方向に垂直な断面でみて略U字状に形成される。

[0016] 本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバーにおいて、前記第1のカバー部又は前記第2のカバー部の少なくともいずれかは、その内面に柔軟部材を備えるように構成される。

[0017] 本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバーにおいて、前記柔軟部材は、EVA又は発泡ゴムにより形成される。

発明の効果

[0018] 本発明の様々な実施形態により、様々な種類や寸法の釣竿の収納や取り外しを簡易かつ確実なものとしつつ、リール等の装着の有無に関わらず釣竿の竿先部分及び竿尻部分を保護するだけでなく、釣竿がカバー構造から外れることを防止することが可能な釣竿用ガイドカバーを提供することが可能とな

る。

図面の簡単な説明

[0019] [図1]本発明の一実施形態における釣竿用ガイドカバー 1 を説明する図である。

[図2]本発明の一実施形態による釣竿用ガイドカバー 1 における接続部 4 を説明する図である。

[図3]本発明の一実施形態による釣竿用ガイドカバー 1 における接続部 4 を説明する図である。

[図4]本発明の一実施形態による釣竿用ガイドカバー 1 における第 1 のカバー部 2 及び第 2 のカバー部 3 を説明する図である。

[図5]本発明の他の実施形態に係る釣竿用ガイドカバー 1 における接続部 4 を説明する図である。

発明を実施するための形態

[0020] 以下、適宜図面を参照し、本発明の様々な実施形態を説明する。なお、各図面において共通する構成要素に対しては同一の参照符号が付されている。各図面は、説明の便宜上、必ずしも正確な縮尺で記載されているとは限らない。以下、本発明の実施形態について図面に基づき説明する。

[0021] まず、図 1 を参照して、本発明の一実施形態における釣竿用ガイドカバー 1 について説明する。図示のように、本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバー 1 は、釣竿 10 の竿先部分 11 を収納可能な第 1 のカバー部 2 と、該釣竿 10 の竿尻部分 12 を収納可能な第 2 のカバー部 3 と、を備え、該第 1 のカバー部 2 と、該第 2 のカバー部 3 とは、接続部 4 を介して連結され、該接続部 4 はその延伸方向の長さが調節可能にされるように構成される。

[0022] 本発明の一実施形態における釣竿用ガイドカバー 1 によれば、様々な種類や寸法の釣竿の収納や取り外しを簡易かつ確実なものとしつつ、リール等の装着の有無に関わらず釣竿の竿先部分及び竿尻部分を保護するだけでなく、釣竿がカバー構造から外れることを防止することが可能な釣竿用ガイドカバーを提供することが可能となる。

[0023] このように、収納する釣竿の寸法に合わせて接続部の長さを調節し、釣竿の竿先部分と竿尻部分とを第1のカバー部と第2のカバー部とにそれぞれ収納することで、釣竿がその延伸方向（接続部の延伸方向）に移動し、いずれかの先端部分が第1のカバー部若しくは第2のカバー部から外れた脱落ないし離脱することが防止可能となる。すなわち、第1のカバー部及び第2のカバー部は、それぞれが釣竿の端部部分を収納するだけでなく、お互いが接続部を介して連結されていることで、釣竿が外れることをも防止する役割を付与することにもなるため、釣竿の竿先部分及び竿尻部分を保護するだけでなく、釣竿がカバー構造から外れることを防止することができる。

[0024] また、図2に示すように、本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバー1において、当該接続部4は、一方の端部15が当該第1のカバー部2に取付けられた第1の着脱部5と、一方の端部16が当該第2のカバー部3に取付けられた第2の着脱部6と、を備え、該第1の着脱部5と該第2の着脱部6とは着脱可能に取着されるように構成される。より詳細には、第1の着脱部5の他方の端部17と、第2の着脱部6の他方の端部18とが、着脱可能に取着されるように構成される。接続部4の長さ調節を可能とするため、第1の着脱部5と第2の着脱部6の着脱可能な位置はそれらの端部位置以外の任意の位置であるようにするとよい。このようにすることで、様々な寸法の釣竿の収納が可能となる。ここで、上記第1の着脱部5と第2の着脱部6との間に適宜1又は複数の中間部（図示しない）を設ける構成を採用してもよい。

[0025] また、図3に示すように、本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバー1において、当該接続部4は、一方の端部21が第1のカバー部2に着脱可能に取着され、他方の端部22が第2のカバー部3に着脱可能に取着される着脱部材7であるように構成してもよい。その際、着脱部材7は、一方の端部21及び他方の端部22以外の任意の位置においても、第1のカバー部2及び第2のカバー部3のそれぞれに取着されるようにすることで、接続部4の長さ（延伸方向の長さ）を調節することが可能となる。このようにするこ

とで、様々な寸法の釣竿の収納が可能となる。

[0026] 本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバー 1 において、上述した、第 1 の着脱部 5、第 2 の着脱部 6 又は着脱部 7 は、それぞれ面ファスナーにより着脱可能にされる。例えば、着脱可能にするため、第 1 の着脱部 5 に雄型の面ファスナーを配置し、第 2 の着脱部 6 に雌型の面ファスナーを配置するようにして、第 1 の着脱部 5 と第 2 の着脱部 6 とを着脱可能に取り付けるように構成することができる。また、着脱部 7 に雄型の面ファスナーを配置し、第 1 のカバー部 2 及び第 2 のカバー部 3 に雌型の面ファスナーを配置するようにして、着脱部 7 を第 1 のカバー部 2 及び第 2 のカバー部 3 に対して着脱可能に取り付けるようにしてもよい。着脱部材はこれらの態様に限られず、適宜変更可能である。

[0027] また、本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバーにおいて、第 1 の着脱部 5、第 2 の着脱部 6 又は着脱部 7 は、それぞれ面ファスナー、線ファスナー、ベルト、ジッパー、ボタン、紐、バンド、ハンドルカバー、テープ又は磁石により着脱可能にされる。磁石を用いる場合は、例えば、その一方に磁石を配置し、他方に磁石に吸着可能な磁性体と配置するように構成してもよい。また、単に複数配された磁石同士で合せたりするだけでなく、例えば、時計バンドのように、金属と磁石を組み合わせるようにしてもよい。第 1 の着脱部 5、第 2 の着脱部 6 又は着脱部 7 はこれらの限定されるものではなく、従来公知の様々な構造が採用され得る。

[0028] 本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバー 1 において、当該接続部 4 は、その延伸方向の長さが 400 mm から 1000 mm の範囲で調節可能にされる。このようにして、様々な寸法の釣竿を収納することが可能となる。当該接続部 4 の材料として、ネオプレン、ナイロン、ストレッチベルト又はゴムベルト等が考えられるが、これらに限られない。なお、ストレッチベルトとは、伸縮可能な材料で形成されたベルトをいう。また、接続部 4 として、鞆やクーラーボックス等に用いられる長さ調節可能ないわゆる肩ベルト（例えば、種々のバックル等を備えた肩ベルト）を用いるようにしてもよい。

。

[0029] 次に、図4に示すように、本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバー1において、第1のカバー部2又は第2のカバー部3の少なくともいずれか（図示の例では、第1のカバー部2及び第2のカバー部の双方）は、接続部4への延伸方向に垂直な断面でみて略U字状に形成される。なお、略U字状とは、厳密なU字だけでなく、凡そU字と言える範囲を含める意味で用いている。このようにして、略U字形状の開口部から釣竿を収納することができる。また、本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバー1において、第1のカバー部2又は第2のカバー部3の少なくともいずれか（図示の例では、第1のカバー部2及び第2のカバー部の双方）は、接続部4への延伸方向に垂直な断面でみて略コの字状又はその他の形状を有するように構成してもよい。これらの断面形状を形成した際、釣竿が当該開口部から外に出てしまうことを防止するため、図4に示していないが、第1のカバー部2又は第2のカバー部3の少なくともいずれかの上述の開口部の開口端部に、第1のカバー部2又は第2のカバー部3の少なくともいずれかの上述の開口部を開閉するための開閉部が設けられるようにしてもよい。例えば、線ファスナー（例えば、図1、2、3参照）、面ファスナー、ベルト、ジッパー、ボタン、紐、バンド、ハンドルカバー、テープ又は磁石等を設け、当該開口部の開閉を行うことができるように構成される。このようにして、釣竿の各端部部分がその周方向に関して確実に第1のカバー部2及び第2のカバー部のそれぞれに収納することが可能となる。

[0030] 本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバー1において、第1のカバー部2又は第2のカバー部3の少なくともいずれかは、その内面に柔軟部材を備えるように構成される。このようにして、釣竿の各先端部分の保護をより確実に行うことが可能となる。本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバー1において、このような柔軟部材として、EVA又は発泡ゴムを用いることができる。

[0031] 本発明の一実施形態に係る釣竿用ガイドカバー1において、第1のカバー

部２及び第２のカバー部３の形状や寸法は、収納が想定される釣竿の形状や寸法に合わせて様々に考えられるため、特定の寸法や形状に限定されるものではない。例えば、第１のカバー部２又は第２のカバー部３の少なくともいずれかは、キャップ形状の部材を用いるようにしてもよい。また、織物やシート等で形成される袋状の部材（カバー部材）を用いてもよい。様々な釣竿の形状や寸法に合わせるため、複数種類の第１のカバー部２及び第２のカバー部３をそれぞれ準備しておくことで、共通の接続部４を使用しながら、実際に収納したい釣竿の形状及び寸法に合わせて適切な第１のカバー部２及び第２のカバー部３を選定するようにすることもできる。このようにして、釣竿の収納の自由度を更に高めることができる。

[0032] 次に、図５を参照して、本発明の他の実施形態に係る釣竿用ガイドカバー１について説明する。本発明の他の実施形態に係る釣竿用ガイドカバー１において、当該接続部４は、一方の端部３１が当該第１のカバー部２に取付けられた第１の着脱部５と、一方の端部３２が当該第２のカバー部３に取付けられた第２の着脱部６と、を備え、該第１の着脱部５と該第２の着脱部６とは着脱可能に取着されるように構成される。より詳細には、第１の着脱部５の他方の端部３３（図示の例では、バックルの係止部）と、第２の着脱部６の他方の端部３４（図示の例では、バックルの被係止部）とが、着脱可能に取着されるように構成される。その際、ラダロック等（図示しない）を用いて、第１の着脱部５又は第２の着脱部６の少なくともいずれかの長さを調整可能とすることで、接続部４の長さを調節することが可能となる。このようにすることで、様々な寸法の釣竿の収納が可能となる。

[0033] 本明細書で説明された各構成要素の寸法、材料、及び配置は、実施形態中で明示的に説明されたものに限定されず、この各構成要素は、本発明の範囲に含まれうる任意の寸法、材料、及び配置を有するように変形することができる。また、本明細書において明示的に説明していない構成要素を、説明した実施形態に付加することもできるし、各実施形態において説明した構成要素の一部を省略することもできる。

符号の説明

- [0034] 1 釣竿用ガイドカバー
2 第1のカバー部
3 第2のカバー部
4 接続部
5 第1の着脱部
6 第2の着脱部
7 着脱部材
10 釣竿
11 竿先部分
12 竿尻部分
15 一方の端部
16 一方の端部
17 他方の端部
18 他方の端部
21 一方の端部
22 他方の端部

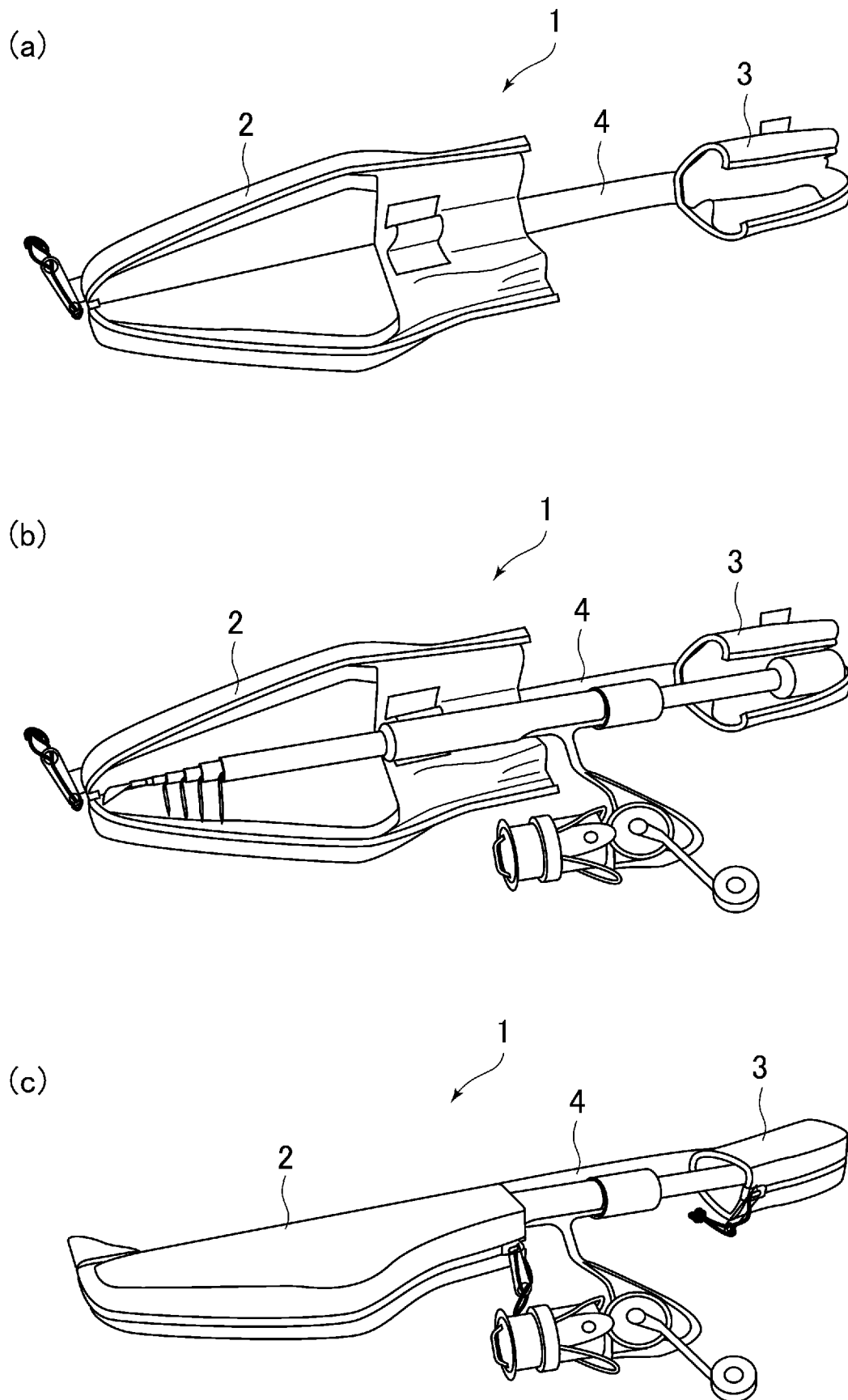
請求の範囲

- [請求項1] 釣竿の竿先部分を収納可能な第1のカバー部と、該釣竿の竿尻部分を収納可能な第2のカバー部と、を備える釣竿用ガイドカバーであって、
- 前記第1のカバー部と、前記第2のカバー部とは、接続部を介して連結され、該接続部はその延伸方向の長さが調節可能にされることを特徴とする釣竿用ガイドカバー。
- [請求項2] 前記接続部は、一方の端部が前記第1のカバー部に取付けられた第1の着脱部と、一方の端部が前記第2のカバー部に取付けられた第2の着脱部と、を備え、該第1の着脱部と該第2の着脱部とは着脱可能に取着される、請求項1に記載の釣竿用ガイドカバー。
- [請求項3] 前記接続部は、一方の端部が前記第1のカバー部に着脱可能に取着され、他方の端部が前記第2のカバー部に着脱可能に取着される着脱部材である、請求項1に記載の釣竿用ガイドカバー。
- [請求項4] 前記第1の着脱部、前記第2の着脱部又は着脱部は、それぞれ面ファスナーにより着脱可能にされる、請求項2又は3に記載の釣竿用ガイドカバー。
- [請求項5] 前記第1の着脱部、前記第2の着脱部又は着脱部は、それぞれ線ファスナー、ベルト、ジッパー、ボタン、紐、バンド、ハンドルカバー、テープ又は磁石により着脱可能にされる、請求項2又は3に記載の釣竿用ガイドカバー。
- [請求項6] 前記接続部は、その延伸方向の長さが400mmから1000mmの範囲で調節可能にされる、請求項1から5までのいずれか1項に記載の釣竿用ガイドカバー。
- [請求項7] 前記第1のカバー部又は前記第2のカバー部の少なくともいずれかは、前記接続部への延伸方向に垂直な断面でみて略U字状に形成される、請求項1から6までのいずれか1項に記載の釣竿用ガイドカバー。

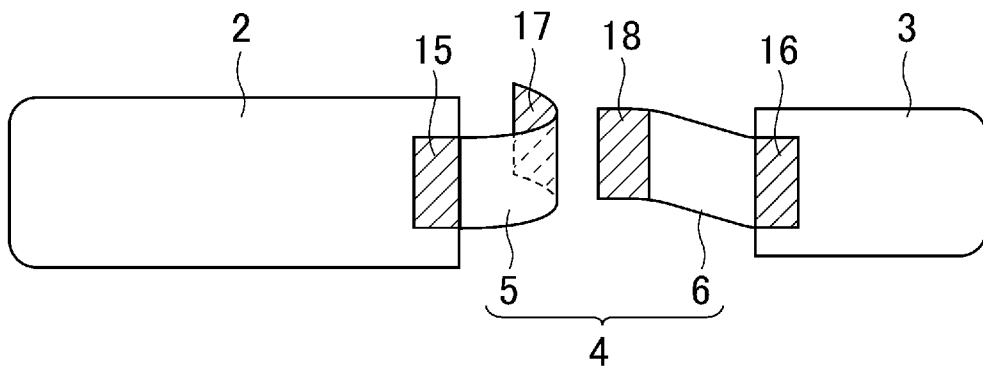
[請求項8] 前記第1のカバー部又は前記第2のカバー部の少なくともいずれかは、その内面に柔軟部材を備える、請求項1から7までのいずれか1項に記載の釣竿用ガイドカバー。

[請求項9] 前記柔軟部材は、EVA又は発泡ゴムにより形成される、請求項8に記載の釣竿用ガイドカバー。

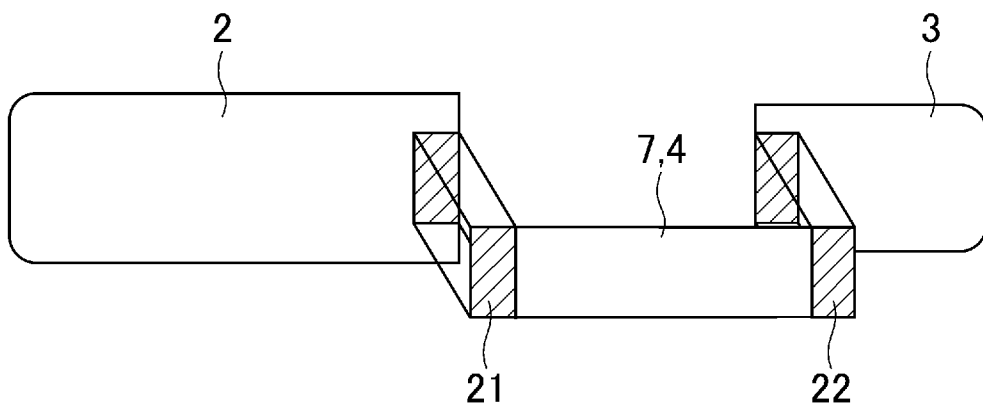
[図1]



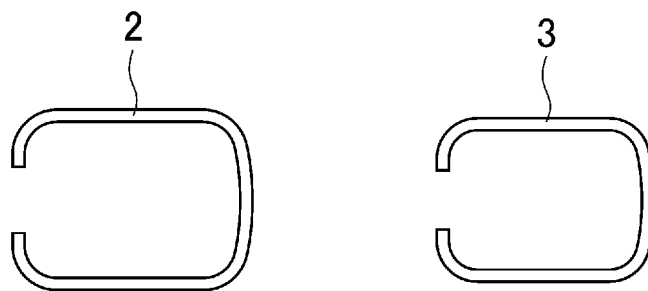
[図2]



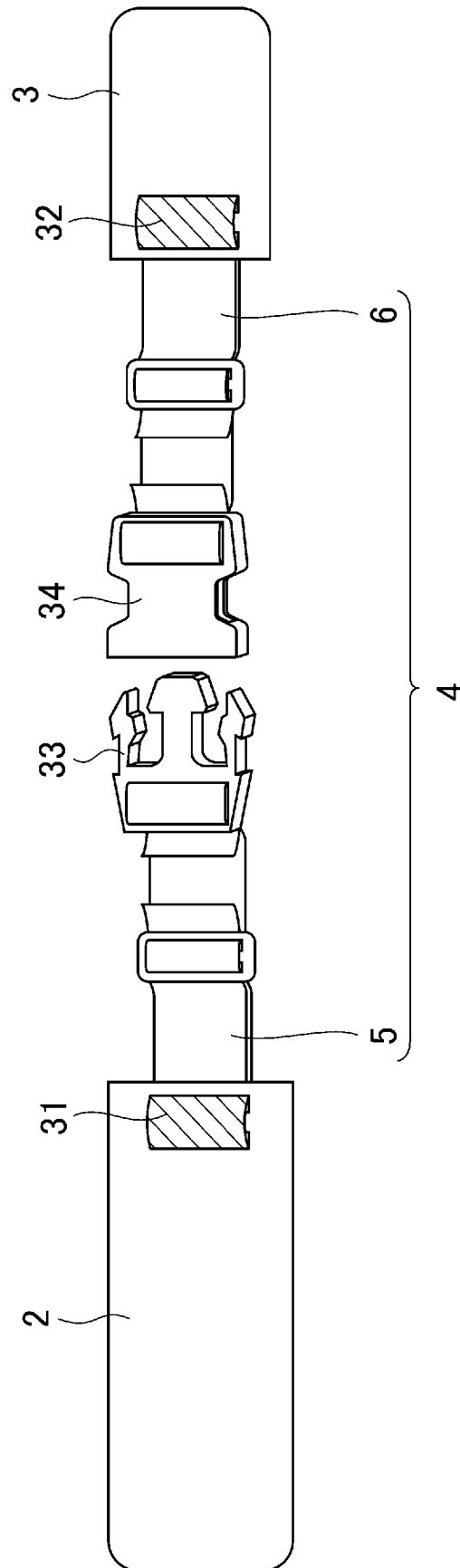
[図3]



[図4]



[図5]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2022/043857

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER**A01K 97/08**(2006.01)i; **A01K 87/00**(2006.01)i

FI: A01K97/08; A01K87/00 640B

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A01K97/08; A01K87/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996
 Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2023
 Registered utility model specifications of Japan 1996-2023
 Published registered utility model applications of Japan 1994-2023

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 110943/1989 (Laid-open No. 050873/1991) (SHIMIZU, Toshihiko) 17 May 1991 (1991-05-17), specification, p. 5, line 3 to p. 6, line 11, specification, p. 7, line 16 to p. 8, line 2, fig. 1, 5	1, 6
Y		7-9
A		2-5
X	US 2018/0192628 A1 (BURTS, James Alan) 12 July 2018 (2018-07-12) paragraphs [0032]-[0065], fig. 1-6	1-6
Y		7-9
Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 014386/1972 (Laid-open No. 089787/1973) (OLYMPIC TSURIGU KK) 29 October 1973 (1973-10-29), specification, p. 4, lines 8-18, specification, p. 5, lines 10-14, fig. 2-4	7-9
Y	US 2002/0178642 A1 (GARCIA, Anthony) 05 December 2002 (2002-12-05) fig. 3	7-9



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 “E” earlier application or patent but published on or after the international filing date
 “L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 “O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 “P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
 “X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
 “Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
 “&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

10 January 2023

Date of mailing of the international search report

31 January 2023

Name and mailing address of the ISA/JP

Japan Patent Office (ISA/JP)
 3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915
 Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2022/043857

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2007-228831 A (DAIWA SEIKO INC) 13 September 2007 (2007-09-13) paragraph [0027]	8-9
Y	JP 2009-82030 A (DAIWA SEIKO INC) 23 April 2009 (2009-04-23) paragraphs [0008], [0011], [0014]	8-9
Y	JP 2021-121178 A (GLOBERIDE INC) 26 August 2021 (2021-08-26) paragraph [0047]	8-9
A	JP 2008-000101 A (DAIWA SEIKO INC) 10 January 2008 (2008-01-10) entire text, all drawings	1-9
A	JP 2004-222655 A (SHIMANO INC) 12 August 2004 (2004-08-12) entire text, all drawings	1-9

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.

PCT/JP2022/043857

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)	Publication date (day/month/year)
JP	03-050873	U1	17 May 1991	(Family: none)	
US	2018/0192628	A1	12 July 2018	US 2021/0084878 A1	
				paragraphs [0033]-[0066], fig. 1-6	
JP	48-089787	U1	29 October 1973	(Family: none)	
US	2002/0178642	A1	05 December 2002	(Family: none)	
JP	2007-228831	A	13 September 2007	(Family: none)	
JP	2009-82030	A	23 April 2009	(Family: none)	
JP	2021-121178	A	26 August 2021	(Family: none)	
JP	2008-000101	A	10 January 2008	(Family: none)	
JP	2004-222655	A	12 August 2004	KR 10-1003744 B1	
				entire text, all drawings	
				CN 1517013 A	

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC）） A01K 97/08(2006.01)i; A01K 87/00(2006.01)i FI: A01K97/08; A01K87/00 640B										
B. 調査を行った分野										
調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC）） A01K97/08; A01K87/00										
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの <table border="0"> <tr> <td>日本国実用新案公報</td> <td>1922-1996年</td> </tr> <tr> <td>日本国公開実用新案公報</td> <td>1971-2023年</td> </tr> <tr> <td>日本国実用新案登録公報</td> <td>1996-2023年</td> </tr> <tr> <td>日本国登録実用新案公報</td> <td>1994-2023年</td> </tr> </table>			日本国実用新案公報	1922-1996年	日本国公開実用新案公報	1971-2023年	日本国実用新案登録公報	1996-2023年	日本国登録実用新案公報	1994-2023年
日本国実用新案公報	1922-1996年									
日本国公開実用新案公報	1971-2023年									
日本国実用新案登録公報	1996-2023年									
日本国登録実用新案公報	1994-2023年									
国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）										
C. 関連すると認められる文献										
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号								
X	日本国実用新案登録出願01-110943号(日本国実用新案登録出願公開03-050873号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム(志水舒彦) 17.05.1991 (1991-05-17) 明細書第5頁第3行-第6頁第11行, 明細書第7頁第16行-第8頁第2行, 第1, 5図	1, 6								
Y		7-9								
A		2-5								
X	US 2018/0192628 A1 (BURTS, James Alan) 12.07.2018 (2018-07-12) [0032]-[0065], 図1-6	1-6								
Y		7-9								
Y	日本国実用新案登録出願47-014386号(日本国実用新案登録出願公開48-089787号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム(オリムピック釣具株式会社) 29.10.1973 (1973-10-29) 明細書第4頁第8-18行, 明細書第5頁第10-14行, 第2-4図	7-9								
Y	US 2002/0178642 A1 (GARCIA, Anthony) 05.12.2002 (2002-12-05) 図3	7-9								
☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ☒ パテントファミリーに関する別紙を参照。										
* 引用文献のカテゴリー “A” 特に関連のある文献ではなく、一般的な技術水準を示すもの “E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの “L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） “O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 “P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献 “T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの “X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの “Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの “&” 同一パテントファミリー文献										
国際調査を完了した日 10.01.2023	国際調査報告の発送日 31.01.2023									
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 〒100-8915 日本国 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	権限のある職員（特許庁審査官） 小島 洋志 2B 6093 電話番号 03-3581-1101 内線 3237									

C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2007-228831 A (ダイワ精工株式会社) 13.09.2007 (2007 - 09 - 13) [0027]	8-9
Y	JP 2009-82030 A (ダイワ精工株式会社) 23.04.2009 (2009 - 04 - 23) [0008], [0011], [0014]	8-9
Y	JP 2021-121178 A (グロープライド株式会社) 26.08.2021 (2021 - 08 - 26) [0047]	8-9
A	JP 2008-000101 A (ダイワ精工株式会社) 10.01.2008 (2008 - 01 - 10) 全文, 全図	1-9
A	JP 2004-222655 A (株式会社シマノ) 12.08.2004 (2004 - 08 - 12) 全文, 全図	1-9

国際調査報告
 パテントファミリーに関する情報

国際出願番号

PCT/JP2022/043857

引用文献			公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP	03-050873	U1	17.05.1991	(ファミリーなし)	
US	2018/0192628	A1	12.07.2018	US 2021/0084878 A1	
				[0033]-[0066], 図1-6	
JP	48-089787	U1	29.10.1973	(ファミリーなし)	
US	2002/0178642	A1	05.12.2002	(ファミリーなし)	
JP	2007-228831	A	13.09.2007	(ファミリーなし)	
JP	2009-82030	A	23.04.2009	(ファミリーなし)	
JP	2021-121178	A	26.08.2021	(ファミリーなし)	
JP	2008-000101	A	10.01.2008	(ファミリーなし)	
JP	2004-222655	A	12.08.2004	KR 10-1003744 B1	
				全文, 全図	
				CN 1517013 A	